



## 構成ツール

---

- [この機能設定ガイドについて](#) (1 ページ)
- [構成ツールの概要](#) (1 ページ)
- [電話機能一覧の生成](#) (4 ページ)

### この機能設定ガイドについて

このガイドでは、Unified Communications Manager システムの各種機能を設定するために実行する必要があるタスクについて説明します。このガイドは、「初日」の設定（着信コールおよび発信コール、ダイヤルプラン、ネットワーク リソースなど）をはじめとするコール制御システムの設定後に利用します。通話制御システムの設定に関しては、『[『System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager』](#)』を参照してください。

### 構成ツールの概要

このガイドの手順では、次の 2 つの構成ツールを使用する必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager Administration
- Cisco Unified Serviceability

この章では、ツールとそれらにアクセスする方法について簡単に説明します。

### Cisco Unified CM の管理

Cisco Unified Communications Manager Administration アドミニストレーションは、Unified Communications Manager ノードに対する個々の設定変更を、手動で行うための Web ベースのアプリケーションです。このガイドの手順では、このアプリケーションを使用して機能を設定する方法について説明します。

一括設定タスクを実行する必要がある、設定プロセスを自動化する場合は、Unified Communications Manager Bulk Administration Tool (BAT) を使用して、同時に多数の変更を設定

に加えることができます。詳細については、「[Cisco Unified Communications Manager 一括アドミニストレーションガイド](#)」を参照してください。

## Cisco Unified CM の管理へのログイン

次の手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。Cisco Unified Communications Manager Administration にログインすると、メインウィンドウで、Unified Communications Manager の現在のライセンス ステータスが表示されたメッセージが表示されることがあります。たとえば、Unified Communications Manager では、次のような状況を識別します。

- Unified Communications Manager は現在、スターター（デモ）ライセンスで動作しています。適切なライセンス ファイルをアップロードしてください。
- Unified Communications Manager でライセンス数が不足しているため、追加のライセンス ファイルをアップロードしてください。
- Unified Communications Manager で、現在、正しいソフトウェア機能ライセンスが使用されていません。この状況では、Cisco CallManager サービスは停止し、適切なソフトウェアバージョンのライセンスをアップロードして Cisco CallManager サービスを再起動するまで開始しません。

次の手順でサーバを参照して、[Cisco Unified CM Administration] にログインします。

### 手順

---

**ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。

**ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。

```
https://<Unified CM サーバ名>:{8443}/ccmadmin/showHome.do
```

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

(注) オプションで、ポート番号を指定できます。

**ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。

**ステップ 4** [Cisco Unified CM Administration] のメインウィンドウで、Unified Communications Manager のインストール中に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします。（両方のフィールドの内容をクリアする場合は、[リセット (Reset)] をクリックします）。

(注) セキュリティの理由により、非アクティビティ状態が 30 分続くと、Cisco Unified Communications Manager Administration はユーザをログアウトします。この場合、もう一度ログインする必要があります。

---

## Cisco Unified Communications Manager Serviceability

このガイドの一部の手順では、Cisco Unified Serviceability アプリケーションを使用して Unified Communications Manager ノード上のサービスを開始または再開する必要があります。

Cisco Unified Serviceability は、Web ベースのトラブルシューティング ツールであり、次の機能を備えています。

- トラブルシューティング用にアラームとイベントを保存し、アラームメッセージの定義を提供する。
- トレース情報を、トラブルシューティング用にログ ファイル保存します。
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (Unified RTMT) を使用して、コンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。
- ユーザによる、またはユーザ処理の結果としてのシステムの設定変更を記録することによって、監査機能を提供します。この機能は、Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection の情報保証機能をサポートします。
- [サービスの開始 (Service Activation) ] ウィンドウによりアクティブ化、非アクティブ化、および表示を行うことができる機能サービスを提供します。
- 日次レポート (警告サマリーやサーバ統計レポートなど) の生成とアーカイブ。
- Unified Communications Manager、インスタントメッセージおよびプレゼンス および Cisco Unity Connection が、Simple Network Management Protocol (SNMP) リモート管理およびトラブルシューティングの管理対象デバイスとして動作できるようにする。
- 1つのノード (またはクラスタ内の全ノード) のログパーティションのディスク使用をモニタします。
- システム内のスレッドとプロセスの数をモニタする。キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- **Unified Communications Manager** のみ : Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting を使用して、サービス品質、トラフィック、請求情報に関する Unified Communications Manager レポートを生成します。

### Cisco Unified Communications Manager Serviceability にログイン

Cisco Unified Serviceability にログインするには、次の手順を使用します。

#### 手順

**ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。

**ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。

`https://<Unified CM サーバ名>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

- ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert) ] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 4** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[ナビゲーション (Navigation) ] ドロップダウンメニューで [Cisco Unified Serviceability] を選択し、[移動 (Go) ] をクリックします。
- ステップ 5** Unified Communications Manager のインストール中に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login) ] をクリックします。
- (注) セキュリティ目的で、30分間無活動状態が続くとログアウトされ、ログインし直す必要があります。

---

## 電話機能一覧の生成

電話機能一覧のレポートを生成し、設定したい機能をどのデバイスがサポートしているのか判別します。

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。[システム レポート (System Reports) ]。
- ステップ 2** レポートのリストから、[Unified CM 電話機能一覧 (Unified CM Phone Feature List) ] をクリックします。
- ステップ 3** 次のいずれかの手順を実行します。
- [レポートの新規生成 (Generate New Report) ] (棒グラフのアイコン) を選択し、新しいレポートを生成します。
  - レポートが存在する場合は、[Unified CM 電話機能一覧 (Unified CM Phone Feature List) ] を選択します。
- ステップ 4** [製品 (Product) ] ドロップダウンリストから、[All] を選択します。
- ステップ 5** 設定の対象となる機能の名前をクリックします。
- ステップ 6** レポートを生成するには、[送信 (Submit) ] をクリックします。
-